

能代市総合計画

まちづくり確認書

平成24年3月

能代市

この確認書では、左ページにまちづくり提案、右ページに市の対応を記載しています。
右ページの中でかっこ書きしている事業費（～千円）は、平成24年度当初予算額です。

「実施計画期間中（-H26）の市の対応」欄の基準（目安）

1 対応する予定（又は既に対応）

- 新たな対応を予定しているもの
- 既に取り組んでいるもの（改善を予定しているものを含む）

2 対応する方向で検討

- 新たな対応に向けて準備を進めるもの
- 新たな対応に向けて検討を進めるもの

3 対応の課題等を研究

- 新たな対応を中長期的な課題として研究するもの
- 新たな対応が可能かどうか検討するもの

4 対応は当面困難

- 法律や制度などの制約から行政の関与が難しいもの
- 担い手や資金の確保などの課題があり対応が難しいもの など

※ 1～4が混在している場合は、複数を選択しています。

1 取組の改善策

<p>政策1(1)コミュニティで支え合う特色ある地域づくり</p>	<p>提案1 若者が自主的にまちづくりに取り組む環境づくり</p>
<p>提案に至った現状と評価</p>	<p>提案の内容</p>
<p>・指標は横ばいで推移しているが、これからの地域づくりを担うリーダーがいない。</p> <p>(……ので、)</p>	<p>○若者が今後の能代市の発展のために必要なことを考え、実行できる組織（成人式実行委員会等の活用）の立ち上げや、既存団体への参画等を促し、若者が達成感を得られるようにする。</p> <p>○既存団体が、新規組織の立ち上げやリーダーの育成を支援する。</p> <p>○行政（市）は、新規組織立ち上げのため、資金、知識、ノウハウ面で支援する。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>
<p>政策1(2)学び合い高め合って地域に活かす生涯学習</p>	<p>提案2 学んだことを地域に還元する仕組みづくり</p>
<p>提案に至った現状と評価</p>	<p>提案の内容</p>
<p>・生涯学習活動等を通じて学んだことが、うまく地域に還元できていない。</p> <p>(……ので、)</p>	<p>○PTA会員等が学びの場に参加し、世代間交流を図りながら、子どもや家族へ還元する。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>
<p>政策1(3)地域で育み社会で支える子育て・子ども支援政策 1(4)次代を担う子どもの成長を支える学校教育</p>	<p>提案3 子育て中の保護者、地域等との世代間交流の推進</p>
<p>提案に至った現状と評価</p>	<p>提案の内容</p>
<p>・子育て中の女性のストレス対策が必要である。</p> <p>・ファミリーサポート事業のさらなる活用が必要である。</p> <p>(……ので、)</p>	<p>○行政（市）、幼稚園・保育所（園）、子育て中の市民と会員並びに会員同士が信頼関係を深めて、会員からの口コミも活用したファミリーサポート事業の利用件数の増をめざす。</p> <p>○地域やファミリーサポートセンター会員等に、子育て中の市民が悩みを相談できる世代間交流が必要である。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成24年度当初予算額

政策1(1)コミュニティで支え合う特色ある地域づくり	提案1 若者が自主的にまちづくりに取り組む環境づくり
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	市では、若者に限ったことではありませんが、市民まちづくり活動に対する助成制度として「市民まちづくり活動支援事業補助金」を設けており、広く市民活動団体を支援しています。 平成23年度には、この助成制度を活用して、「風の松原フェスティバル実行委員会」が能代山本広域交流センターにおいて「風の松原フェスティバル」を開催していますが、この実行委員会は、代表を含め30代の若者を中心に組織しており、若者による手作りイベントで多くの集客を得ることができました。 また、市の勤労青少年ホーム内に「能代市市民活動支援センター」を設け、市民活動に関する相談・助言等を行っています。現在、登録団体が45団体（2月末現在）あり、若者中心の団体も加わっていますが、前述の実行委員会も登録団体の1つで、センターのアドバイスを得て助成制度を活用したものですので、ぜひこのセンターを利用していただきたいと思います。
政策1(2)学び合い高め合って地域に活かす生涯学習	提案2 学んだことを地域に還元する仕組みづくり
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
1 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	講座等を効果的に行い、その成果を地域に還元するためには、PTA会員となる一般成人層の方の積極的な参加が重要な要素の一つとなりますが、参加が高くはないのが現状です。 一般成人に限らず講座の対象年齢層に効果的に周知することが不可欠であり、より効果的な周知方法について検討したいと考えています。
政策1(3)地域で育み社会で支える子育て・子ども支援政策 1(4)次代を担う子どもの成長を支える学校教育	提案3 子育て中の保護者、地域等との世代間交流の推進
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	ファミリーサポートセンター事業は、他の一時預かり事業や病児・病後児保育事業なども充実していることや、子育てを家族などに頼める地域性があることなどから、利用件数がそれほど増加していない状況です。しかし、子どもの送迎など、この事業でしか対応できないサービスがあることから今後も引き続き、事業の周知に努めます。 また、安心して頼めるよう、子育て支援センターや広報等で提供会員の写真付き紹介を行うほか、提供会員が、子育て支援センターで実施している「ひろば」への参加などを通じて世代間交流や地域交流を図るとともに、サービスの周知や安心感の拡大につなげるよう努めます。

政策1(3) 地域で育み社会で支える子育て・子ども支援政策 1(4) 次代を担う子どもの成長を支える学校教育	提案4 様々な年代の市民が交流できる場の確保
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと地域、世代間の交流が不足している。 <p style="text-align: right;">(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○行政・学校が、地域に最も身近な学校跡地や学校の空き教室等を活用し地域住民（特に高齢者、障がい者、外国人）と子どもたちが、PTA（保護者）の力を借りて交流できる場を創出する。 ○教職OBの持てる力を利用し、PTAや地域の力を活用して、地域全体で子どもを育てる。 <p style="text-align: right;">(……が、……ことを提案する。)</p>

政策1(5) 子どもも大人も心と体の健康づくり	提案5 がん撲滅運動の推進
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・がんの死亡率が依然として高い。 ・喫煙率が高い。 ・平均寿命が短い。 <p style="text-align: right;">(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市民、行政（市）、医療機関が、運動習慣、食事の改善（減塩運動）、禁煙運動、検診率の向上対策、がん医療の充実、看護、緩和ケアなど、それぞれの分野・立場で、がん撲滅運動に取り組む。 <p style="text-align: right;">(……が、……ことを提案する。)</p>

政策1(6) 地域で活躍する元気な高齢者	提案6 高齢者自身がお互いに支えあうシステムづくりの研究・検討
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県は高齢化率が他よりも高く、今後も超高齢社会の最先端地域になると予想される。 ・高齢者の価値観が多様化している社会では、10年～15年後にはこの地域を支えることができなくなると予想される。 <p style="text-align: right;">(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○今後さらに高齢化が進展する中で、高齢者自身がお互いに支えあう地域づくりが求められる。また、超高齢社会のあるべき姿として、世界の最先端地域として、わのまちづくりの一環として、行政も民間もそのためのシステムづくりの研究・検討をしなければならない。 <p style="text-align: right;">(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成24年度当初予算額

政策1(3) 地域で育み社会で支える子育て・子ども支援政策 1(4) 次代を担う子どもの成長を支える学校教育	提案4 様々な年代の市民が交流できる場の確保
実施計画期間中（-H26）の市の対応 ① 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	対応の内容（又は理由） 鶴形小学校では、学校を会場のひとつとして、地域行事の鶴形そば祭りに全校児童が参加し、児童による合唱や郷土芸能の発表なども行っています。市では、こうした例を他の学校にも紹介していくとともに、ふるさと教育を推進する中で、地域やPTA、学校が連携して行事等の取り組みを進めるよう、各学校に働きかけています。 また、学校の防災訓練を推進する中で、避難訓練を周辺自治会や住民とも合同で実施するなどの取り組みを進めることとしています。 放課後や休みの日の児童の受け入れを行っている留守家庭児童会については、保護者や地域の力を借りた事業展開にまで至っておらず、今後、実現可能な手法等について、研究していきたいと考えています。 また、各保育施設においては、運動会、納涼お楽しみ会、クリスマス会などの各種行事へ、地域の皆さんへの参加を呼び掛け、交流が生まれています。これに対して、地域の高齢者などが、率先して行事前の草刈りなどを行っているところもあり、こうした地域とのつながりは、今後も継続したいと思います。 こうした、地域住民と子どもたちが交流するための制度として、学校支援ボランティア・生涯学習ボランティアなどの制度があり、これらを活用しながら、地域全体と子どもたちの交流を更に推進できるよう、今後の課題として研究したいと考えています。 このように、地域全体で子どもを育てることについては、現在、多くの市民の方にご協力をいただいておりますが、今後も教員OBやPTA会員等に限らず、それぞれの経験・立場を効果的に活かして参加できる環境づくりに取り組みたいと考えています。

政策1(5) 子どもも大人も心と体の健康づくり	提案5 がん撲滅運動の推進
実施計画期間中（-H26）の市の対応 ① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	対応の内容（又は理由） 市では、がん死亡率の減少に向けて、がん対策強化推進事業を新規に事業化し、メディアを活用した啓発の拡大やがん検診未受診者へのコールリコールのほか節目年齢の無料がん検診事業の拡大などに取り組むことにしています。また、平成25年度からの健康づくり新計画立案に向けて、健康づくり運動推進事業を新規に事業化し、市民や各団体の代表者で食習慣部会・運動習慣部会を立ち上げ、市民運動化への取り組みを進めます。これらの取り組みの流れの中で、がん撲滅推進運動についても協議する場を検討したいと考えています。

政策1(6) 地域で活躍する元気な高齢者	提案6 高齢者自身がお互いに支えあうシステムづくりの研究・検討
実施計画期間中（-H26）の市の対応 1 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	対応の内容（又は理由） 市民の3人に1人が65歳以上の高齢者となり、地域生活において何らかの支援が必要な高齢者が増えていますが、比較的元気な高齢者も多く、就労・家事などのほか、自治会・町内会などの地域活動の担い手として、また、老人クラブや自主グループなどで活躍しています。 今後、高齢化がさらに進むことが想定されており、何らかの支援を要する高齢者を支える若い世代の人材が不足していく中で、元気な高齢者には、要援護高齢者を見守り、支援するなどの役割を担っていただき、高齢者同士が地域で支え合う仕組みを構築することが必要になってきます。 老人クラブの友愛訪問活動や生きがいと健康づくり事業、災害時要援護者避難支援プラン策定事業などを通じて、こうした意識の醸成を図るとともに、ボランティアポイント制度などの先進事例等も参考にしながら検討を進めます。

政策1(7)地域で社会で自立する障害者	提案7 障がい者の孤立化防止
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が孤立している場合がある。 <p>(……ので、)</p>	<p>○行政や事業所等が、障がい者の就職を推進すること（雇用率をさらに高めること）で孤立化の防止を図る。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化	提案8 ガイドボランティア講座の開催
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・檜山崇徳館は、交通・昼食の面で改善が必要である。 ・土日対応のガイドボランティアが不足している。 <p>(……ので、)</p>	<p>○行政（市）、ボランティア会員が、ガイドボランティア講座を開催し、地域活動を支援する。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化	提案9 学習発表会、ふるさと学習を活用した民俗芸能の伝承
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能は、後継者不足であるが、地域以外の人が入れないのが現実である。 ・指標には横ばいが多いが、少子化は明らかで、今後ますます厳しくなる。 <p>(……ので、)</p>	<p>○行政（市）、関係団体、学校が、学習発表会やふるさと学習を活用し、次代の担い手となる子どもたちへふるさとの良さを継承していく。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成24年度当初予算額

<p>政策1(7) 地域で社会で自立する障害者</p>	<p>提案7 障がい者の孤立化防止</p>
<p>実施計画期間中（-H26）の市の対応</p>	<p>対応の内容（又は理由）</p>
<p>① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難</p>	<p>当市においては、平成16年4月1日に在宅障害者支援施設「とらいあんぐる」を開設し、在宅で身体・知的・精神に障がいがある皆様の自立及び社会参加を総合的に支援すると共に、憩いの場を提供しています。 とらいあんぐるでは、障害者相談支援事業を実施しており、障がいのある皆様やご家族のご相談を受け、関係機関との連絡調整や必要な場合は家庭訪問も行っています。また、地域活動支援センター事業において、障がい者の創作的活動事業や機能訓練、社会適応訓練等を行っています。 なお、とらいあんぐるの事業周知につきましては、市のホームページや広報のしろへ掲載しているほか、新聞等への記事掲載をお願いして行っていますが、引き続き周知を図ります。 また、地方公共団体は、身体・知的・精神障害者の雇用について、教育委員会では2%以上、教育委員会を除く機関では2.1%以上という法定雇用率の達成が義務づけられています。 市ではこの基準を達成しており、今後とも雇用率の向上に努めます。 そして、障がいのある人が働けるよう、関係機関と連携して、雇用の情報提供や職場の環境を整備する国の制度などを周知し、雇用対策を推進してまいります。</p>
<p>政策1(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化</p>	<p>提案8 ガイドボランティア講座の開催</p>
<p>実施計画期間中（-H26）の市の対応</p>	<p>対応の内容（又は理由）</p>
<p>① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難</p>	<p>檜山地区に関しては、教育委員会が歴史や文化財を案内するボランティアガイドの養成講座を平成9年以来5回開催し、78人の修了者が「のしろ檜山周辺歴史ガイドの会」を組織、活動しています（現会員数47人）。また、風の松原に関しても、市主催の養成講座のあと、ガイド団体が立ち上がっています。それぞれの地域に関する問い合わせがあった場合や紹介する機会があった場合も含めて、ガイド団体のさらなる周知に努めます。 ガイド団体に対しては、独自に養成講座を開催したり、ガイド活動をおして会員を養成するなど、ボランティア希望者の随時受け入れを促したいと考えています。</p>
<p>政策1(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化</p>	<p>提案9 学習発表会、ふるさと学習を活用した民俗芸能の伝承</p>
<p>実施計画期間中（-H26）の市の対応</p>	<p>対応の内容（又は理由）</p>
<p>① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難</p>	<p>少子化が著しく進むなか、次世代への継承は大きな課題と考えており、市では、毎年「ふるさと学習交流会」で民俗芸能の発表を行っているほか、平成23年度から「子ども民俗芸能発表会」を開催し、披露する機会を提供しています。</p>

政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化	提案10 民俗芸能関係常設展示館の整備
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・能代市民俗芸能連合会加盟団体数は、5年間変動がない。 ・後継者不足が課題である。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○関係団体や行政(市)が、年1度、子どもを含む一般の方に郷土芸能を披露し、地域の芸能に触れる機会を設けるとともに、将来的には郷土芸能関係のものを常設展示できる施設を能代地域にも整備する。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化	提案11 檜山城趾整備の推進
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・檜山城趾の整備計画が進んでいない。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○名称を「檜山城」ではなく、「檜山安東城」とする。 ○檜山城館跡整備計画委員会を設立する。 ○檜山城館跡の発掘調査を実施する。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策1(9)だれもが気軽に楽しめるスポーツ	提案12 継続的にスポーツ少年団に協力できる体制づくり
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団認定指導者が順調に増え、指標も順調だが、実質的な人数は少ない。 ・子どもの卒業とともに保護者も離れ、協力者不足となっている。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○体育協会、体育指導員、スポーツクラブなどが連携し、子どもが卒業した後も、継続的にスポーツ少年団へ協力できる体制づくりを図る。 ○中学生が小学生を指導する機会を設ける。 ○学区ごとの小・中学生のスポーツを通じた交流の機会を設ける。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成24年度当初予算額

政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化	提案10 民俗芸能関係常設展示館の整備
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
① 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 当面は対応が困難	能代市民俗芸能団体連合会では、毎年能代地区と二ツ井地区で合同発表会を開催しています。市でも広報への掲載や地元新聞へ情報提供するなどして周知に努めています。 能代市全体の民俗芸能関係の常設展示施設としては二ツ井伝承ホールがあります。今後、能代地域において歴史民俗資料館機能の整備を計画する際には、郷土芸能関係資料を展示内容に組み込むことも検討したいと考えています。

政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化	提案11 檜山城趾整備の推進
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
① 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 当面は対応が困難	檜山城跡の整備については、市が檜山安東氏城館跡（檜山城跡・大館跡・茶臼館跡）の管理団体となり、国庫補助を活用する前提で進めていかなければなりません。地権者全員の同意を得られる見込みがなく、管理団体指定が困難な状況となっています。従って、まだ史跡全体に関わる整備計画策定委員会の設置や発掘調査を実施する状況にはないと考えます。 そこで現在、史跡の保存を基本としたうえで、檜山城跡の主要部については最小限の整備ができないか手法を検討しています。 なお、「檜山安東城」の名称は過去の文献には現れたことがないため、「檜山城」の名称を使用したいと考えています。 ※「檜山城」「檜山之城」「日山城」「霧山城」などが過去の文献に現れた名称です。

政策1(9)だれもが気軽に楽しめるスポーツ	提案12 継続的にスポーツ少年団に協力できる体制づくり
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
① 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 当面は対応が困難	子どもたちの健全育成に資する適正なスポーツ少年団活動を行うためには、認定員の資格をもつ保護者が経験を活かし、さまざまな場面で団活動に関わることが重要です。市では、今後も各種会議や研修会において、有資格者の継続的な関わりの必要性について理解を求めていくとともに、各団の課題把握に努め、必要に応じて体育協会や体育指導委員と連携した取り組みを行っていきたいと考えています。 また、中学生による指導の機会を全市的に設ける場合は、そのメリットやデメリット、リスク等を十分に検討し、関係者への理解を図っていく必要があります。特に安全面を考慮した場合、慎重に検討を行う必要があると考えています。 このほか、市では、小学生から中学生までを対象としたマリンスポーツ教室やスポレクフェスタ等の事業を開催し、交流機会を設けています。市内3地区には地域住民主体で運営している総合型地域スポーツクラブがあり、幅広い年代層を対象に、地域のニーズに合った交流活動を行っています。市としては、今後も総合型地域スポーツクラブの設立について支援を行い、異年齢、異世代交流の機会拡充を図っていきたいと考えています。

政策1(9)だれもが気軽に楽しめるスポーツ	提案13 バスケットリングの更新
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットの街づくりは、地元チームの勝敗に左右されない取組が必要である。 ・バスケットリングが老朽化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○バスケットの街づくり委員会の充実を図る。 ○行政（市）が、バスケットの街をアピールするような目立つバスケットリングにする。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策1(10)認め合い支え合う社会づくり	提案14 行政の配布物を数カ国語で表記
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座の受講者及び外国人と市民との交流の機会も増えているが、目標値には届いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語を指導するボランティア、日本語学習会等が、現在の活動を継続しつつ、定期的に交流会を実施する。 ○行政（市）が、案内表示等を平易な日本語にするとともに、行政からの配布物等を、数カ国語で表記する。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策2(1)環境を核とした活力ある産業創出 2(2)雇用を産み出す企業立地	提案15 新エネルギー関連事業の先進地化
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・働く場がなく、人口流出につながっている。 ・エネルギーの需給見通しがひっ迫し、新エネルギーへの転換が叫ばれている。 ・火力発電所が立地し、チップ混焼が行われる。 ・地域の資源である木を活かしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政（市・県・国）と企業が一体となって各種新エネルギーの導入・集積に取り組む。 ○行政（市・県・国）とエネルギー関連事業者、森林事業者が一体となり、地域の木材が資材（バイオ燃料）として採算ベースに見合うような仕組みづくりに取り組む。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

【提案への市の対応】

※事業費は平成24年度当初予算額

政策1(9)だれもが気軽に楽しめるスポーツ	提案13 バスケットリングの更新
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
<p>① 対応する予定（又は既に対応）</p> <p>2 対応する方向で検討</p> <p>3 対応の課題等を研究</p> <p>4 当面は対応が困難</p>	<p>市では、市民等30人の委員で構成する「能代市バスケの街づくり推進会議」での協議を踏まえた「能代市バスケの街づくり推進計画」を策定し、平成24年度からスタートします。</p> <p>この計画は、バスケを核に地域振興を図ろうとするものであり、街づくりを進めるにあたっては、地域の皆さんとともに考え、ともに連携を図りながら取り組んでいくこととしています。</p> <p>このため、ご提案の内容に限らず、多様な主体の皆さんとさまざまな取組を進めていくことで、バスケをきっかけとして街に元気が生まれ、街なかのにぎわいを創出し、能代から全国に向けて元気を発信できるような街をめざしたいと考えており、「バスケでみんなが元気になれる街」を街づくりのビジョンとしています。</p> <p>計画の推進にあたっては、計画を点検し推進を図るための推進組織を設置し、情報を共有しながら連携して取組を進めることにしています。</p> <p>また、市では、子どもたちが、いつでも気軽にバスケットボールに親しむことができるように、市内の街区公園等50カ所に屋外用固定ミニバスケットリングを設置しており、毎年定期的に点検し、汚れや破損しているものを清掃、修繕を行っています。</p> <p>「能代市バスケの街推進計画」においては、ストリートバスケができる環境の整備を目指すこととしており、これと合わせてミニバスリングの設置のあり方を検討していきます。</p>
政策1(10)認め合い支え合う社会づくり	提案14 行政の配布物を数カ国語で表記
実施計画期間中（-H26）の市の対応	提案の内容
<p>1 対応する予定（又は既に対応）</p> <p>② 対応する方向で検討</p> <p>③ 対応の課題等を研究</p> <p>4 当面は対応が困難</p>	<p>「暮らしのガイドブック」「広報のしろ」など、印刷物の数カ国語での翻訳版の発行については、ページ数や発行回数などを考慮すると、当面の実施は難しいと考えていますが、能代市在住の外国人に対する生活情報などの提供については、市ホームページから秋田県国際課「在住外国人向け情報」とリンクさせるなどの手法を検討しているほか、費用対効果などを踏まえながら、市ホームページへの自動翻訳機能の追加についても検討を進めたいと考えています。</p> <p>案内表示等については、表記方法も含め、どのような手法が適切か研究したいと考えています。</p>
政策2(1)環境を核とした活力ある産業創出 2(2)雇用を産み出す企業立地	提案15 新エネルギー関連事業の先進地化
実施計画期間中（-H26）の市の対応	提案の内容
<p>① 対応する予定（又は既に対応）</p> <p>2 対応する方向で検討</p> <p>3 対応の課題等を研究</p> <p>4 当面は対応が困難</p>	<p>企業、市民、行政が一体となって、地域の再生可能エネルギー資源を最大限に活用し、エネルギーの「地産地消」に向けて、地域の自給力と利益還元の仕事組みを築き、産業や雇用の創出、所得の向上につなげ、活気あふれる能代市となることを目指し、実現に向けてプロジェクトを構築したいと考えています。</p> <p>再生可能エネルギーの導入にあたり、平成24年度に事業化調査を行い、ビジョンを策定します。これを指針にして、戦略的に再生可能エネルギー導入促進事業（19,633千円）に取り組みながら、環境と経済の好循環を作り出すことにより地域活性化につなげます。</p> <p>また、木質バイオマスのエネルギー利用については、原料の調達コストの低減が最大の課題と言われており、市内で既に稼働している能代バイオマス発電所においても、調達コストが課題となっている林地残材の利用は僅かです。しかしながら、エネルギーのまちを目指す本市では、地域に大量に眠るこの貴重な資源を有効活用すべく、H24年度より、効率的な林地残材の収集運搬方法を検討する「森林整備事業」（34,715千円）、また、林地残材を含めて森林資源のフル活用を推進する「森林資源供給基地整備事業」（12,000千円）、さらに地域の森林資源供給量を調査し、その利用を推進する「森林資源供給システム構築事業」（1,500千円）を実施します。今後、能代火力発電所においても、木質バイオマスの混焼発電に取り組むこととしており、市では、積極的に木質バイオマスの利用推進に取り組んでいきます。</p>

政策2(2)雇用を産み出す企業立地	提案16 雇用対策を緊急課題とする官民をあげた組織化
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の働く場がなく、人口減少につながっている。 ・企業誘致は難しい状況にある。 ・地元の企業も衰退している。 <p>(……ので、)</p>	<p>○行政（市・県（出先機関）・国（ハローワーク））、雇用開発協会、商工会議所・商工会、教育関係者及び金融機関、各業界団体等が、産業創出と雇用確保について、有識者のアドバイスを受けながら、具体的で実現可能な対策を発案、推進するための組織を作る。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策2(3)力強く持続する農業	提案17 農商工連携・6次産業化による新たな農業の展開と担い手づくり
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・米価の低迷が続いている。 ・高齢化による担い手不足が深刻である。 ・若者にとって農業が魅力ある産業となっていない。 ・コスト低減による所得増には限度がある。 <p>(……ので、)</p>	<p>○農家自らが、作るから売るへと発想を転換する。</p> <p>○行政（市）、農業、加工業、販売業、飲食業、観光業が協力して、連携を促進する仕組みづくりを行う。</p> <p>○農業、加工業、販売業等が連携し、地域の核となるような特産品開発を行う。</p> <p>○行政（市）、関係機関・団体は、農業が若者にとっても魅力ある産業となるような取り組みや農業の担い手育成の取り組みを推進する。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策2(4)山・川を生かす林業・木材産業・水産業	提案18 秋田杉の需要創出に結びつく技術開発
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・木材製品出荷額が減少し続けている。 ・装飾材としての需要は量的限度がある。 ・秋田杉を使用した加工品の代名詞的製品がない（知られていない）。 ・装飾用途外とされる低質材の用途開発が進んでいない。 <p>(……ので、)</p>	<p>○木材業界、研究機関（木材高度加工研究所）が連携し、製品加工の代名詞的製品を開発する。</p> <p>○林業・木材業界、建築士、工務店、研究機関、行政（市・県・国）が一体となって構造材として使用する技術開発を行うことにより、秋田杉の新たな価値と需要を生み出す。</p> <p>○林業・木材業界が、価格競争に負けないような共同出荷体制を整え、行政（市・県・国）が支援を行う。</p> <p>○行政（市・県・国）、林業・木材業界が一体となり、川上から川下までの総合的な戦略を練る。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成24年度当初予算額

政策2(2)雇用を産み出す企業立地	提案16 雇用対策を緊急課題とする官民をあげた組織化
実施計画期間中（-H26）の市の対応	提案の内容
① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	<p>地域経済の低迷、人口減少が続く中、能代工業団地等への企業立地を進めるため、企業誘致推進員を設置し、県企業立地事務所と連携しながら、企業開発事業（11,001千円）の中で企業誘致活動を展開し、雇用機会の拡大等を図ります。</p> <p>厳しい雇用情勢に対応するため、地域雇用総合対策事業（740千円）の中で求職者、新卒者のための就職面接会、高校生を対象とした就業支援セミナーを開催しています。</p> <p>また、能代デュアルシステム事業（1,116千円）の中で、高校生の地元企業での職業実習を行い、地元就職への定着を図りたいと考えています。</p> <p>このほか、就職推進員設置事業（1,270千円）の中で、利用者の利便性にも配慮しながら、内職希望者の相談や紹介、情報提供等の対応及び雇用相談を実施します。</p> <p>今後も、国、県、雇用開発協会と連携しながら雇用確保に努めます。</p>
政策2(3)力強く持続する農業	提案17 農商工連携・6次産業化による新たな農業の展開と担い手づくり
実施計画期間中（-H26）の市の対応	提案の内容
① 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	<p>農林漁業生産と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した新たな産業の創出を促進するなど、市では6次産業化を推進するため、内外に対して特産品のPRを行うなど、関係機関と連携し、支援していきます。</p> <p>また、首都圏を中心とした物産展に出展しており、こうした機会を利用しながら有効的にPRを行います。</p> <p>ネギや山ウド、ミョウガ、杉、ゼオライト等といった地域産業資源を活用、または農商工連携により新たな商品を開発しようとする方へ、起業・新商品開発等支援事業費（2,100千円）の中で、商品化に要する経費の助成を行っています。</p> <p>また、特産品の開発に取り組む方へ、国の「農林漁業成長産業化ファンド」や県の「あきたの農商工応援ファンド事業」を紹介しています。</p> <p>事業の継続や拡大に導くため、補助事業者等の要望を受け、専門家による経営指導等のあっせんを行っていますが、今後、新たな農業の展開や担い手づくりについて、関係団体と連携し、取り組んでいきます。</p> <p>農業の担い手育成の取り組みとしては、未来農業のフロンティア育成研修費補助事業（1,200千円）や畑作就農定着促進事業費補助事業（3,600千円）、畑作定着ブラザー事業（500千円）、地域農業を担う経営体育成・確保推進事業（112千円）などに取り組んでいます。</p>
政策2(4)山・川を生かす林業・木材産業・水産業	提案18 秋田杉の需要創出に結びつく技術開発
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
① 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	<p>市では、木材需要の変化に即応した製品開発の促進を図るため、木製品研究開発支援事業（500千円）を実施しています。また、木材高度加工研究所及び木材加工推進機構と共同で新たな住宅部材の研究、開発を進め、地場産大径材の利用拡大を図るため、「地場産材活用住宅供給促進事業」（7,574千円）にも引き続き取り組んでいきます。</p> <p>このほか、24年度において、品質・規格の確かな木製品のほか、住宅の建築用部材の様々な品揃えについて情報発信する「地場産材供給促進事業」（9,905千円）を実施し、地場産材や地場製品の供給に結びつくよう事業を推進していきます。</p> <p>地域の資源である秋田スギや企業の技術力、施設・設備を最大限に活かし、木材産業の振興を図っていきます。</p>

政策2(5) まちのにぎわいをつくり出す商業	提案19 商店街の魅力づくりと空き店舗の再利用
提案に至った現状と評価	提案の内容
・空き店舗が増え、にぎわいが作り出せていない。	○商店主が、品数を増やす。 ○商店街、商店主が、商店街の景観づくりをする。 ○家主が、空き店舗の家賃を割り引く。 ○家主、商店主、行政（市）が、気軽に作品展示等を行える空間を確保する。 ○商店主、商店街が、小規模でいいのでイベント、キャンペーンを通年で開催する。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策2(6) 豊かな自然とその恵みを生かす観光	提案20 年間を通じた観光メニューの確立
提案に至った現状と評価	提案の内容
・イベントの観客増による、地域経済の波及効果が見えない。	○観光協会が、主催者、旅行業者、商店主、飲食店業者、生産者の核となり、一体的に取り組む。 ○商店主、飲食業者、生産者が、郷土料理、特産品を提供する。 ○観光協会、旅行業者が、郷土料理や特産品と、自然、史跡、イベント等を組み合わせた、通年の観光ルートを作成する。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策3(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制	提案21 ハザードマップの作成と活用
提案に至った現状と評価	提案の内容
・津波ハザードマップが未作成である。	○行政（市）が、標高や、海岸からの距離、到達予想時間等を記載したハザードマップを作成する。 ○学校が、防災教育を保護者も含め必修とする。 ○行政（市）、自治会・町内会が連携して、花見やまち歩きなどを兼ねたりしながら、避難場所、経路、危険箇所を確認する。 ○自治会・町内会が、地元の商店と非常食や水等の確保に関し協力体制をとる。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策3(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	提案22 排雪場所の確保
提案に至った現状と評価	提案の内容
・除排雪で協力体制は出来上がりつつあるが、排雪場所の確保が支障となっている。	○自治会・町内会が、行政（市）と連携して、地主に交渉し排雪場所を確保する。 ○自治会・町内会が、冬期間そこを管理し、雪解け後に清掃を行う。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

【提案への市の対応】

※事業費は平成24年度当初予算額

政策2(5) まちのにぎわいをつくり出す商業	提案19 商店街の魅力づくりと空き店舗の再利用
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	商店街の振興を図るため、街なか商店街景観改修事業補助金（5,000千円）の中で、空き店舗を取得あるいは賃借して開業しようとする方や、開業をめざす方に空き店舗を賃貸しようとする方に助成しています。 また、国等の補助を受けていない商店街振興組合や商店会等が行うイベント等に対して、事業費の一部を助成しています。 このほか、街なか商店街の景観向上によりイメージアップを図り、来街者の増加の一助とするため、景観改修工事をしようとする所有者に対して、事業に要する経費の一部を助成するなどの取組を進めていきます。

政策2(6) 豊かな自然とその恵みを生かす観光	提案20 年間を通じた観光メニューの確立
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	平成24年度から能代観光協会はNPO法人として活動（8,065千円）します。観光産業は全ての産業に波及することから地域住民及び各団体・事業者との協働により、観光振興による地域活性化が図られることが期待されています。観光メニューの開発のほか各種イベント等の企画運営などを行っていく予定ですが、市としても積極的にNPO能代観光協会と連携を図ります。 なお、大型七夕復活推進事業（緊急雇用）（8,617千円）として、能代商工会議所に対して、事業を委託することにしてあります。この中では、青森ねぶたや五所川原の立佞武多等との連携を視野に入れたルートメニューの開発を予定しています。

政策3(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制	提案21 ハザードマップの作成と活用
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	市民の津波に対する警戒意識の向上を図るため、平成23年度では沿岸地域について、津波高8mを想定した津波浸水区域のほか、標高、海岸からの距離などを表示した暫定版の津波ハザードマップを作成（委託料1,648,500円）、12月末に全世帯に配布し、市のホームページや新聞記事等で周知に努めています。さらに、秋田県が24年度に実施予定の最新の地震被害想定調査に基づき、25年度に保存版の津波ハザードマップを作成し、全世帯に配布したいと考えています。 防災教育の充実に努めるとともに、防災訓練等の機会に、自治会等と連携、協力し、地域で助け合う体制づくりや津波避難訓練を促進していきます。

政策3(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	提案22 排雪場所の確保
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
1 対応する予定（又は既に対応） ② 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	自治会、町内会が主体となって行政（市）と連携し23年度で20回ほど町内を排雪しています。 また、現在約10自治会等が主体となって排雪場を確保し、事後清掃を行っています。 除排雪については地域との連携や連絡調整が不可欠であり、今後とも自治会・町内会と協力しながら対応していきます。

政策3(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	提案23 公共交通手段の確保
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・巡回バスの利用者が減少傾向である。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○行政（市）が、逆回りルートの運行を検討する。 ○行政（市）が、アンケート等により定期的にルートを検証する。 ○行政（市）が、高齢者への運賃を助成する。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策3(3) 効果的で調和のとれた土地利用	提案24 中心市街地の活性化
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗率が上昇している。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○行政（県）が、畠町に駐車帯を設ける。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案25 かかりつけ医、かかりつけ薬局の定義や意義のPR
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医、かかりつけ薬局の定義や意義が市民に理解されていない。 ・お薬手帳を数冊持っている人がいる。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○病院・診療所、薬局、行政（市）が、患者（市民）に対し、かかりつけ医、かかりつけ薬局の言葉の定義や「かかりつけ」の意義をPRし、さらなる利用促進を図る。 ○行政（市）は、その啓発を行う。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案26 地域医療体制の再構築を目的とする会議の設置
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・病院・診療所それぞれの役割分担と連携が、しっかりとできていない。 ・医師が偏在している。 ・救急医療体制が疲弊している。 <p>(……ので、)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○病院・診療所の連携強化や役割分担の推進を前提とし、かかりつけ医・かかりつけ薬局に対する患者の意識向上、救急医療体制の問題点の改善を含め、地域医療体制の再構築を目的とする会議を組織する。会議の組織構成は、病院・診療所（医師会ほか医療従事者）、薬局（薬剤師会）、患者（市民）、行政（市）とし、行政（市）は、会議の情報を逐一公開して患者（市民）の意見を求める。 ○病院・診療所、薬局が、患者情報（カルテ）を共有するシステムを構築、推進する。 <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成24年度当初予算額

政策3(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	提案23 公共交通手段の確保
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	既存の巡回バスについては、市民の要望を受け、平成23年10月からバス停2箇所を新規に設置し、その後、アンケート調査を実施しました。今後も市民の意見、要望等を踏まえながら、バス停の増設、経路、ダイヤの変更など、必要な見直しを図ることにしています。 また、向能代・落合地区の新たな巡回バスについては、25年度の実証試験に向け、準備を進めていきたいと考えています。 このほか、公共交通の空白地帯における、高齢者等の交通弱者を対象にした予約型乗合タクシーについて、24年度の実証試験に向け、要望把握のためのアンケート調査等を進めています。 高齢者への運賃助成については、65歳以上の高齢者を対象に、市内のバス料金の上限を1乗車200円とする「元氣・交流200円バス事業」（7,458千円）を24年10月から実施する予定です。

政策3(3) 効果的で調和のとれた土地利用	提案24 中心市街地の活性化
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
1 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 ③ 対応の課題等を研究 ④ 当面は対応が困難	畠町通りの駐車帯については、平成10年4月以降14年5月まで、市を窓口として、商店会、商工会議所、警察署、県等と協議を重ねましたが、安全対策等30項目にわたる課題を解決できないことから、懇談会を解散した経緯があります。 現状においても、その課題を解決するような大きな変化はありませんが、活性化に向けた課題を総合的に解決していくために、駐車機能の必要性を含めて、中心市街地活性化計画の見直しや検証を行いながら駐車機能の確保に向けた検討を進めていきたいと考えています。

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案25 かかりつけ医、かかりつけ薬局の定義や意義のPR
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難	市では、地域での健康教育や健康相談及び広報等を活用し、かかりつけ医、かかりつけ薬局について、よりわかりやすい方法で周知・啓発に努めていきます。

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案26 地域医療体制の再構築を目的とする会議の設置
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
1 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 ④ 当面は対応が困難	病院・診療所の役割分担については、制度上も不明確であり、医療制度上の改革が必要であると考えられることから、市では当面、かかりつけ医を持つなど、市民への啓発を継続しながら、医療に係る情勢を注視していきたいと考えています。 カルテ共有システムについても、医師会等との連携を密にしながら、最新の情報を入手していきたいと考えています。

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案27 医師偏在や疲弊している救急医療体制の改善
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・病院・診療所それぞれの役割分担と連携が、しっかりとできていない。 ・医師が偏在している。 ・救急医療体制が疲弊している。 <p>(……ので、)</p>	<p>○医師会や行政（市）が、医師の偏在や疲弊している救急医療体制の問題点を探り、改善のための調査、研究を行う。また、必要な医師確保のための助成制度や奨学金制度を創設する。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策3(6) 不安のない生活を支える社会保障制度	提案28 介護保険事業計画の見直し
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯や1人暮らし世帯の増加により、在宅介護が難しくなっている。 ・重度の要介護認定者が入所できる施設が充足されていない。 ・介護保険制度の財源不足 ・年金の受給額不足 ・低所得者の負担軽減が図られていない。 ・入所待ちの人が、ショートステイの“はしご”をしている。 <p>(……ので、)</p>	<p>○行政（市）、施設運営者（民間）、公的施設運営者、利用者により、低所得者の負担軽減を図りながら、民間を含めた施設と利用者の需給関係や問題点を把握し、介護が必要になったときに、必要なサービスや援助を受けられるようしくみ作りをするため、介護保険事業計画を見直す。</p> <p>○在宅介護の推進を図るため、新たなサービス体系やしくみを作り、行政（市）が啓発する。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案29 業務委託や指定管理者制度の推進
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・職員数と事務量の関係、事務効率が適正かどうか疑問が持たれる状況にある。 <p>(……ので、)</p>	<p>○行政（市）は、サービス低下にならないことを前提として、民間活力導入を積極的に行い、民間団体や民間企業への業務委託や指定管理者制度を推進する。</p> <p>(……が、……ことを提案する。)</p>

【提案への市の対応】

※事業費は平成24年度当初予算額

<p>政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制</p>	<p>提案27 医師偏在や疲弊している救急医療体制の改善</p>
<p>実施計画期間中（-H26）の市の対応</p>	<p>対応の内容（又は理由）</p>
<p>① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難</p>	<p>市では、産科や小児救急医療体制における医師不足や偏在について、医師会等との連携を密にしながら、国・県への要望活動を継続して行っています。 産科医については、山本管内で唯一の分娩取扱い病院である山本組合総合病院へ、産科医等確保支援事業として分娩手当補助を行っており、これらの事業を継続しながら、今後より有効な医師確保対策を研究していきたいと考えています。 また能代市では、「能代市奨学金」と「能代市ふるさと人材育成・定住促進奨学金」（H21～H30まで／一部免除規定有り）の2つの奨学金制度により、多くの学生の修学を経済的に支援しています。 医師確保を目的とした制度ではありませんが、医師や看護師等を目指す学生も活用できますので、今後とも事業の周知に努めます。</p>
<p>政策3(6) 不安のない生活を支える社会保障制度</p>	<p>提案28 介護保険事業計画の見直し</p>
<p>実施計画期間中（-H26）の市の対応</p>	<p>対応の内容（又は理由）</p>
<p>① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難</p>	<p>平成24年度からの第5期介護保険事業計画では、高齢者に対し継続的かつ包括的なケアを実施するため、地域包括支援センターを核として、住まい、予防、生活支援、医療、介護の5つの視点に立った、地域包括ケアシステムの構築を目指します。そのため、認知症支援策の充実、医療との連携、生活支援サービスの充実、高齢者の居住に係る施策との連携を重点課題として施策を推進することとしており、その中で、介護が必要なときに必要なサービスや援助が受けられる仕組みづくりについても検討します。 また、医療・看護ニーズの高い高齢者に柔軟に対するサービスとして、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が創設され、本市においても必要なサービス量を確保できるよう情報提供に努め、事業者の積極的な参入を促します。第4期計画期間内に整備する新たな小規模多機能型居宅介護事業所の動向や、介護予防や重度化予防、医療と介護との連携、認知症対策などを基本的な視点とした国の介護報酬改定の動きを注視しながら、在宅介護の推進に努めます。</p>
<p>政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤</p>	<p>提案29 業務委託や指定管理者制度の推進</p>
<p>実施計画期間中（-H26）の市の対応</p>	<p>対応の内容（又は理由）</p>
<p>① 対応する予定（又は既に対応） 2 対応する方向で検討 3 対応の課題等を研究 4 当面は対応が困難</p>	<p>現在、指定管理施設は23施設で、平成24年度にはスポーツ施設が加わり39施設になります。今後も引き続き、施設の運営改善や定期的な見直しを行い、行政サービスの低下にならないよう配慮しながら、業務委託や民間移管等を含め、指定管理者制度の導入等を進めていきます。</p>

政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案30 市民ファンド（基金）立ち上げによる市民活動への支援
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・市単独補助金だけでは、行いたい活動に制限が出る。 ・補助金獲得のためのハードルが高い。 ・行財政改革の実施により、補助金縮減の方向にあることが、積極的な市民活動の阻害要因となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政（市）、民間団体、民間企業、個人が、市民のまちづくりに対する自発的参加を促すため、市単独補助金の一部と民間からの寄付金等で作る、市民ファンド（基金）を立ち上げ、市民活動への支援を積極的に行う。 ○そのための税制優遇制度や認定NPOなどについて、実現に向けた調査・研究を行う。（市民活動支援センター）
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案31 事業仕分けなどによる行政評価の実施
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画のまちづくり評価においては、数値に表すことができないもの、指標の数値だけではわからない背景やそこに至った要因があるはずだが、限られた時間でそこまで探るには無理がある。 ・個々の事業について検討・評価できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政（市）、市民、市民団体により、総合計画市民協働会議だけでは評価しきれない部分まで評価し提案できるシステム、いわゆる“事業仕分け”を実施する。 ○将来的には、事業仕分けなどの行政評価を、市民等で構成する組織または団体に外部委託する。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案32 税収以外の歳入確保の可能性を探る
提案に至った現状と評価	提案の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・市の財政基盤の基礎である市税について、その収納率を上げるための手立ては目一杯行っていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市は、税収以外の歳入の可能性を探り、最大限の収入増を図るべきである。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

【提案への市の対応】

※事業費は平成24年度当初予算額

政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案30 市民ファンド（基金）立ち上げによる市民活動への支援
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
<p>1 対応する予定（又は既に対応）</p> <p>2 対応する方向で検討</p> <p>③対応の課題等を研究</p> <p>4 当面は対応が困難</p>	<p>秋田県では、「あきたスギッチファンド」を立ち上げ、運営されていますので、その能代市版のようなご提案かと思えます。</p> <p>「あきたスギッチファンド」を例にしますと、寄付金を募りながら、運営費をまかなっており、運営費には事務局人件費も含まれています。能代市の規模で同じような形態を考えた場合、ファンドの運営が難しいことも想定されますので、現時点では研究課題であると捉えています。</p> <p>また、「提案に至った現状と評価」の中に、「活動に制限が出る」「ハードルが高い」「縮減の方向にある」とありますので、若干補足させていただきます。</p> <p>まず、「活動に制限が出る」ことについては、仮にファンド化しても、資金に市の予算（税金）を投入する場合には、一定の制限はあることをご理解いただきたいと思います。</p> <p>次に、「ハードルが高い」ことですが、市の「市民まちづくり活動支援事業補助金」については、市民等で構成する審査会でプレゼンをしていただくことにはなりますが、事務手続き面では申込様式を簡素化し、実質1枚で申込できるように工夫していますので、ご活用を検討していただきたいと思います。</p> <p>最後に、「縮減の方向にある」とのことですが、「市民まちづくり活動支援事業補助金」に関しては、市民活動の促進のため、毎年度一定の予算を確保し、広く門戸を開けていますので、ぜひプレゼンにチャレンジしていただきたいと思います。</p>

政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案31 事業仕分けなどによる行政評価の実施
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
<p>1 対応する予定（又は既に対応）</p> <p>2 対応する方向で検討</p> <p>③ 対応の課題等を研究</p> <p>4 当面は対応が困難</p>	<p>市では、基本構想で目指す姿や状態にどれだけ近づいているかを計る手法として、まちづくり評価（政策評価）を実施しており、今後もこれを継続したいと考えています。</p> <p>施策の推進については、総合計画基本計画及び実施計画に基づき、実施計画の進行管理の中で関係事業を選択し、予算化、実施することにより各分野の施策を推進しています。</p> <p>こうした、まちづくりの進捗に対する市の事業効果等を計るための、個々の事業を対象とした事業仕分けについては、体系的に施策の実現につなげる手法やマネジメントサイクル運用面での課題などがあり、今後の研究課題と考えています。</p>

政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案32 税収以外の歳入確保の可能性を探る
実施計画期間中（-H26）の市の対応	対応の内容（又は理由）
<p>① 対応する予定（又は既に対応）</p> <p>2 対応する方向で検討</p> <p>3 対応の課題等を研究</p> <p>4 当面は対応が困難</p>	<p>市では現在、広報のしる、市ホームページ、観光パンフレット等への広告掲載のほか、能代市総合体育館や二ツ井町総合体育館のメインアリーナへの横断幕による広告を行っています。このほか、市所有の未利用地や貸付地の売却など、税外収入による財源確保に努めたいと考えています。</p>